

②0 中小田古墳群

古墳時代前後から後期にいたる遺跡で、現在 14 基の存在を確認している。邪馬台国の女王卑弥呼の鏡ではないかといわれている「三角縁神獸鏡」^{さんかくぶちしんじゅうきょう}（※1）が 1 号墳から出土。そのほか、人骨、鉄器、車輪石（※2）等が出土している。平成 8 年（1996 年）に国の史跡指定を受ける。



（※ 1）三角縁神獸鏡／縁部の断面が三角形となっている古墳時代の鏡の一種

（※ 2）車輪石／碧玉製の腕輪状の装飾品